



2012
10
No.483



理念

130年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と
意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・
予防医療を中心に
医療機能の
充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関
との連携を行い
安心できる医療の
展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・
医療情報公開・
医療ボランティアの
活動を行います

医療人育成

医療に携わる
喜びが持てる
医療人の育成を
行います

平成24年度海外医療事情・社会保険制度視察調査報告

平成24年10月9日から17日まで、2012年度海外医療事情・社会保険視察調査団（団長：全社連 伊藤雅治理事長 副団長：木村正美病院長 他19名）はアメリカ・カナダに出向き、主に、社会保険グループの「医療有害事象対応指針」の策定の契機になった医療事故対応指針「When Things Go Wrong」のその後の展開を中心に調査しました。その他マサチューセッツ総合病院やカナダのLong-term Care Home 訪問見学などを行いました。内容につきましては院内学会等において報告します。

庶務課長 西山 三智



副団長 木村正美病院長 団長 伊藤雅治理事長 アドバイザー 埴岡健一先生 アドバイザー 赤羽幸生様

第14回

日本医療マネジメント学会学術総会



10月の12・13日に第14回日本医療マネジメント学会学術総会が、長崎県佐世保市で開催されました。

今総会は「地域医療の復興と絆～チーム医療と地域連携をさらに進めるヒューマンネットワーク作りを目指して～」をメインテーマとし、長崎県の佐世保で開催されました。演題数は1000を超え、北は北海道、南は沖縄まで津々浦々から参加されていました。参加職種も医師・看護師はもちろん、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技師や事務、施設管理など様々でした。発表内容も医療の質や人材育成、災害医療やコスト管理など多岐にわたっていました。

私は診療放射線技師で、今回は当院で平成23年より開始した、歯科と連携した脳定位放射線治療について発表させて頂きました。全国区の学会は初めてでは

なかったのですが、異なる職種が多い中での発表は緊張しました。5分という短い時間で自分の伝えたいことを専門ではない人に伝えることの難しさを感じました。中には質問の時間が足りなくなるほど反響のある発表もあり、私も興味深く拝聴しました。

シンポジウムでは、昨年の東日本大震災の被害を受けた岩手と中継をつなぎ発表するといったこともされていました。人・物資・情報など限られた状態で医療人として何ができるのか、今後どのようにすべきなのか、災害から1年半あまり過ぎましたが得られた教訓を無駄にしないよう熱意のある討論がされていました。



今総会への参加は私にとって大変有意義なものになりました。これからも「医療人の質」を高めるため日々の業務に活かしていきたいと思えます。

画像診断センター 診療放射線技師 前田 竜一郎

地域医療研修を終えて

H24.9.10～14まで済生会熊本病院研修医の先生が地域医療研修として五木村診療所に研修に来られました。その際の感想をいただきましたので掲載致します。



地域医療研修の一環として、五木村診療所で一週間の研修をさせていただきました。今までの研修とは患者さんの疾患や年齢層なども大きく異なり、ギャップに驚きました。五木村は山深いところにあるという程度の認識でしたが、初日から鹿に刺されながらも動じていない患者さんが来られて、「すごい所に来た」と衝撃を受けました。研修では主に外来診療や処置の見学に加え、慢性疾患のフォローの患者さんや新患の診療を行いました。これまでの研修では入院患者の診療を行うことがほとんどで、疾患を治療することや退院させることが目標となってしまう、患者さんの社会的背景を考えることが少なかったと思

ます。それぞれの患者さんの生活環境や家族の状況を踏まえて診療している先生の姿を見て、地域に根差した医療とはこういうものなんだと実感しました。また、往診にも同行しましたが、実際に患者さんが生活されている場所での診療は患者さんの背景を把握しやすく貴重な体験でした。その患者さんの家も山の奥の方にあつたのですが、もっと山奥から診療所に来られる方もいて、医療アクセスの悪い地域での診療所の役割の大きさを感じました。短い期間でしたが、密度の濃い研修となり感謝しております。最後に、指導していただいた先生方を始め、診療所や人吉総合病院のスタッフの方々、五木村の方々に心からお礼申し上げます。

済生会熊本病院 研修医 福岡 裕子

病院建替え工事 進捗レポート

No. 7
情報企画課



鉄骨建方① (8/9)



鉄骨建方② (8/31)



鉄骨建方③ (9/16)



鉄骨建方④ (9/27)

7/17から始まった鉄骨建方も皆さまのご理解に支えられ、現在順調に進んでいます。今までよりも遠い場所で、四方から病院の姿を確認できるようになりました。この時期になると人吉は朝から霧が見られ、霧の中にそびえ立つ病院の姿に完成が近づいていることを実感させられます。

今回は設計の株式会社内藤建築事務所さん、施工の大成建設株式会社さんの皆様を紹介いたします。いつも安全に、新病院の完成にご尽力いただいています。2010年～病院建替え計画がスタートし、全工事終了まで約半分の工程が過ぎました。来年秋の竣工までどうぞよろしくお願いいたします。



(株)内藤建築事務所



大成建設(株)

ボランティア活動

天使のちえぶくろ

9月8日 えびの市のなかよし保育園にて「天使のちえぶくろ」活動を行いました。

当日は、小児科部長上原医師、看護師3名、ソーシャルワーカー1名で出張致しました。

「発熱時の対応」、「嘔吐・下痢」、「インフルエンザ」について講話を行いました。

講和終了後は、保護者の方より「お薬は積極的に使いたくないけれど、もし使うとすればどのタイミングで使用したら良いのでしょうか?」、「解熱シートやアイスノンでクーリングを試みるけれど子どもが嫌がります。何か良い方法はないでしょうか?」、「けいれんの見分け方を教えて欲しい」等々、日常生活での疑問点や不安な点など、診療中はなかなか尋ねにくい事も質問頂き、上原医師よりやさしく丁寧に説明を行い、保護者の方々より喜びの声を頂きました。

また、なかよし保育園では食育に力を入れておられ、講演後は当日の昼食を試食させて頂きました(試食と言われましたが、十分ごちそうになりました)手作りパン、具だくさんハンバーグ、かぼちゃ



の煮物、サラダ、野菜スープ。味付けは薄いながらも、素材そのものの味でとても美味しく頂きました。いかに普段濃い味に慣れているか…反省します。

えびの市内には、小児の入院施設がなく当院に入院される方も少なくありません。また、夜間や時間外の受診では、せっかく時間をかけて来院頂いても「自宅で安静」の指示でお帰り頂くこともあり、行き来だけで保護者の方や病気の子どもの負担にもなりかねません。

天使のちえぶくろ活動は、幼い子どもさんをお持ちの保護者の方の“不安軽減”を目的としています。今後も人吉・球磨地域はもちろん、えびの市や伊佐市も含めてボランティア活動を続けていきたいと思えます。

2F 病棟 天使のちえぶくろチーム

社会保険病院九州地区球技大会

9月15日・16日に大分県佐伯市で社会保険病院九州地区球技大会が行われました。

15日の前夜祭では、病院ごとに余興が行われ、人吉総合病院は5人と少ない人数でしたが、天草総合病院の方々と合同で「くまモン体操」を踊りました。全員で合わせる時間がなく、ギリギリまで練習を行い、本番では会場を盛り上げることが出来ました。他の余興を見応えあるものばかりで楽しく過ごし、また他の病院の方たちとの交流を深める良い時間となりました。



16日は球技大会本番!! バレー部は全員揃っての練習が前日しか出来ず、不安もありましたが、練習した成果を発揮できるようにチーム一丸となって大会に挑みました。

結果、決勝リーグまで進み3位決定戦では前回の優勝チームの八代総合病院に惜しくも負けてしまいました。今回の大会では出場メンバーが9人とギリギリでしたが、9病院中4位という成績を残すことが出来ました。

限られた練習時間の中で十分な練習はできていませんでしたが、卓球部も4チーム総当たりで行われた団体戦で準優勝を果たし、ともに好成績を収めることができました。

次回の大会では今大会よりも良い成績が残せるように、一生懸命練習を頑張っていきたいと思えます。

バレー部 黒木 智佳



臨床研修医挨拶

今年10月より、当院に4名の協力型臨床研修医が着任されました。これから1年間研修を行っていくにあたって挨拶を頂きました。



研修医1年目の井手尾勝政です。今年の3月に鹿児島大学を卒業し、4月から半年間熊本大学医学部附属病院で研修し、この10月から1年間人吉総合病院で研修させていただきます。

人吉総合病院に勤務し始めて、まず印象的だったのは、人の温かさです。そこから生まれるアットホームで柔らかな雰囲気にとっても居心地の良さを感じています。対して、医療はとてもスピーディーで、特に初めて経験する救急外来は過不足ない迅速な診察と対応が求められています。メリハリをつけ、1年後振り返った時に成長できたと実感できるよう研修に励みたいです。これから1年間どうぞよろしくお願ひ致します。

臨床研修医 井手尾 勝政



10月から人吉総合病院で臨床研修を行わせて頂くことになりました、研修医の山下晃平と申します。このたび第一希望の人吉総合病院に来ることができ大変うれしく思っています。こちらに来て半月程になりますが、スタッフの皆様にも助けられながら日々勉強させていただいています。実は人見知りするタイプなのですが、人見知りをする際を与えてもらえないほど、スタッフの皆様には声をかけて頂いて大変感謝しています。この一年間で色々な部分で成長できたらと思っています。また、人吉のグルメや観光についても徐々に開拓していきたいと思っています。おすすめの店やスポットがあったら是非教えて下さい。もしくは一緒に行きましょう。これから一年間よろしくお願ひします。

臨床研修医 山下 晃平



10月から1年間人吉総合病院で研修させて頂くことになっております。1度もこちらへ見学に来たことは無かったのですが、研修するのにとても良い病院だと周りから聞いて来ました。

10月から研修は始まっており知識不足や経験不足を既に痛感している状態ではありますが、これからのような研修が待っているのか、また1年後どんな経験を積んでいるのか期待に満ち溢れています。

研修が終わった時に、今度は自分が人吉では良い研修が行えると周りに言えるように、一生懸命頑張り、1年という短い時間を無駄に過ごさないようにしたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

臨床研修医 岡留 一雄



初めまして、10月から1年間研修医として人吉総合病院でお世話になります、西村祐紀です。生まれも育ちも熊本なのですが、今まで人吉に縁がなく過ごして参りました。今回せつかくの機会ですので人吉を少しでも知れたらなと思っています。研修医としても6ヶ月が過ぎましたが、力のなさを痛感しているところです。この人吉で日々成長できるように頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

臨床研修医 西村 祐紀

臨床研修修了挨拶

平成24年10月から1年間研修された門久先生・寺本先生に、当院での研修を振り返っていただきました。

1年間の研修を終えて

「ここでの1年の研修はあっという間だ」「ここを去るのは名残惜しいよ」の言葉をよく耳にして過ごしていましたが、ついにこの時が来たようです。私は大学の協力型研修医として人吉に来ました。生まれが人吉であり、雰囲気の良いに魅かれて人吉総合病院での1年間の研修を選択してここに来たのがこの前のようです。

はじめは自主的な行動ができずに受身的な研修をしていましたが、先生方ならびにスタッフの皆様がとても私に良くして下さい、期待に応えなくてはならない気持ちにさせて下さいました。この病院では各科の垣根が低くて相談しやすい雰囲気であり、病院全体のスタッフの仲がいいことを肌身で実感し、まるで病院全体が1つの家族のような感じがしてとても楽しい研修を送ることが出来ました。歓迎会・忘年会・お祭り・花火大会・職員旅行などのイベントも充実しており本当にここに来て良かったです。逆に言えばここに来なかったら去る名残惜しさも感じずに済んだのになと思ったこともあります。

出来の悪い研修医であり、毎日の診療や当直でスタッフの方々に多々ご迷惑をおかけしたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。1年間本当にありがとうございました。今後またここで働くことができれば、その際は宜しくお願いします。

臨床研修医 寺本 周平

人吉での日々をふりかえって

この1年間多くの方々のご協力のもと、充実した研修生活を送ることが出来ました。まず初めにお礼を言いたと思います。ありがとうございました。

何の縁か人吉総合病院を研修先に選び、人吉にやってきた日。薄曇りの秋空でした。凍って蛇口から水が出なかった時。人吉の冬の厳しさを知りました。桜吹雪の中を走り抜けた黒光りするSL。とても穏やかな1日でした。球磨川のラフティングボートの上から眺めた青空。眩しすぎて目を瞑りました。そして、人吉の朝を霧が包むようになったこの頃。時の流れを感じています。

1年間で何か成長したのかと問われると、なかなか答えに窮してしまっていますが、医療者としての第一歩を踏み出したのは間違いなくここ人吉総合病院であったと思います。ふとした時に人吉を思い出すことがあるかもしれません。人吉の温かさに触れ、医療者としての自分を見つめ直す、そんな日々でした。

臨床研修医 門久 政司



阿蘇災害支援 派遣看護師の振り返り

平成 24 年 7 月 19～20 日、24～25 日 当院・個人共に初めて、舟戸 Ns と共に阿蘇市内牧へ災害支援ナースとして派遣参加させていただきました。九州北部豪雨による発災から 1 週間経過しており、ライフラインも避難所までの交通状況も問題ありませんでしたが、立野で死者 2 名を出した土砂崩れの現場を見て言葉を失い、これが現実起きたことなんだとショックを受けました。内牧が近くにつれ、床上浸水した状況が生々しく、泥や流木等を除去する作業があらゆる場所で行われていました。

派遣された場所も床上浸水した場所だったと聞いています。当日は避難所に約 100 名、避難勧告によって体育館に約 250 名の被災者がありました。現地の保健師さんより申し送りを受け、夜間を担当しました。誰がどこにいるのか、何人であるのか、既往歴や抱えている問題等不明だったため、被災者の協力を得ながらマップを作成し巡視しました。救護室へ来られる方は、夕食時から就寝時にかけての時間帯が多く、擦過傷や捻挫を主訴に



する方がほとんどでした。

2 回目の派遣時は、腰痛や不眠、今後に対する不安からいらだちや不平・不満を持つストレスへと移行していたのが印象的です。また、血圧が明らかに高値になっていたのも避難所生活が長期に渡るストレスを物語っていました。

今回、2 回にわたり同じ内牧での派遣活動を通して、活動後の休暇を頂いたのにもかかわらず、2 回目の派遣後はリバースが効かず、1 週間ほど涙もなく泣き続けた日々を送りました。派遣後は 2 回にわたって災害支援の振り返りや勉強会があり、同じ災害支援ナースとも話をする事ができ、気持ちの整理がついていきました。

派遣から 2 ヶ月が経ち、現在ようやく普段どおり仕事をすることができています。

災害支援研修会で、被災地への派遣後は「気持ちの切り替えが難しい」ということを聞き知っていましたが、実際に体験することで被災した人も現地での救護活動を余儀なくされている現状を改めて感じるとともに、災害支援ナースとしての意義も学ぶ事ができました。

災害は無いにこした事はありませんが、いざという時の備えになるようこれからも日々精進していきたいと思います。

ICU 看護師 村上 鮎美

おくんち祭り

獅子舞来訪!



H24.10.3 から開催された青井阿蘇神社の例大祭「おくんち祭り」で、10.9 の御新幸行列の際、獅子舞が当院の緩和ケア病棟・小児科病棟を訪問しました。子どもさんから妊婦さんまで頭をかんでもらい、無病息災を願いました。

毎年来訪していただいております。病院での楽しみの一つとなっています。病気も早くよくなるかも…いつもありがとうございます。

社会福祉士 金栗 由佳



e レジフェア 2012 in 福岡

9 月 22 日(土)、福岡国際会議場において医学生・初期研修医を対象とした臨床研修病院合同説明会「e-レジフェア」が開催され、当院も参加しました。当ブースでは指導医や研修医より病院の様子など「生の声」を聞いていただき、来訪者からは多数の質問も飛び交いました。ご来訪いただき、誠にありがとうございました。



次回(次年度)は熊本大学附属病院主催ブース説明会やレジナビフェアへの参加を予定しておりますので、ぜひご来場ください。病院の見学も随時受け付けております。お問い合わせは下記までお願いします。

事務局 西山 三智



笑って健康促進！
第81回 翔句会開催！

平成二十四年十月開催分の句をご紹介します。
どうぞ鑑賞下さい。

川柳句会「翔」平成二十四年十月分

- 苦しみはかかえこまずに話してね 章子
- いつまでも悩まないでねロダン像 章子
- 三面鏡意見が分かれさわがしい 章子
- 決断をしたようにバン飛び上がる 章子
- 詩人には人を励ます力あり 章子
- 栗の実を一口食べて秋のぶ 地内レイ
- ぶさ可愛犬や猫たち活躍す 地内レイ
- 久しぶりラーメン食べて動けない 地内レイ
- 温かい祖母母孫と川の子で カツ子
- 敬老会足腰忘れ唄おどり カツ子
- 夏野菜終わり欝うちブロッコリー 保義
- 大相撲和製横綱見たいなあ 保義
- 食べ比べ色とりどりのさつま芋 佐津子
- 待ち侘びた彼岸花咲く農道に 佐津子
- 感謝して明日もたのしと余せい生く 緋紗
- だんだんとチーさまとなる吾が夫 緋紗
- 目薬を口もいっしょに開けてさし 緋紗

次回は平成二十四年十一月一日(木) 十四時から予防医療センター二階の図書コーナーで開催致します。
ご自由にご参加下さい。投稿のみの参加もできます。院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

新 任 紹 介



かわさき たつや
河崎 達弥 (小児科・医員)

最終卒業校：川崎医科大学

趣味：スポーツ、お酒

モットー：忙しい時ほど平常心。落ち着いて急げ(1年目の救急外来であわてていた時に言われました)
自分のコマーシャル：まだまだ医師としてかなり未熟ですが、自分ができることを精一杯やっいていこうとおもいます。色々迷惑をお掛けすると思いますが、よろしくお願ひします。



おかどめ かずお
岡留 一雄 (臨床研修医[協力型])

最終卒業校：熊本大学

趣味：バイクでツーリング

生活信条：脱インドア派

自分の性格：慎重派
自分のコマーシャル：一生懸命頑張ります。



やました こうへい
山下 晃平 (臨床研修医[協力型])

最終卒業校：熊本大学医学部医学科

趣味：体を動かすこと

好きな言葉：なせばなる

自分の性格：明るい
自分のコマーシャル：今回、人吉総合病院に来てうれしく思います。1年間よろしくお願ひします。



にしむら ゆうき
西村 祐紀 (臨床研修医[協力型])

最終卒業校：熊本大学

趣味：野球、マジック、合気道、映画鑑賞

自分のコマーシャル：一年間お世話になります。

よろしくお願ひします。



いでお かつまさ
井手尾 勝政 (臨床研修医[協力型])

最終卒業校：鹿児島大学医学部医学科

趣味：ツーリング、キャンプ

好きな言葉：初志貫徹

自分の性格：責任感がある
自分のコマーシャル：一つでも多くのことを学べるよう、頑張ります。よろしくお願ひします。



こでら ちかと
小寺 千聡 (臨床研修医[協力型]地域医療研修)

最終卒業校：熊本大学

趣味：ピアノ、旅行

生活信条：朝ご飯は絶対に食べる！睡眠は絶対

にとる！

自分の性格：前向き

自分のコマーシャル：食べることが大好きです。人吉の美味しいものを食べつくしたいです。



うちやま かよ
内山 佳代 (看護師・整形外科外来)

最終卒業校：折尾女子学園

趣味：ショッピング

モットー：色々な事にチャレンジしてみる様に心がけています

長所：責任感は強い方だと思います。

短所：優柔不断なところ です。

自分のコマーシャル：第3子出産・子育てのため、1年半ぶりの復帰となります。

たくさんの方々の出会いを大切に、看護師として成長できます様努力していきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

9月の勉強会報告

9月25日(水) 臨床病理検討会(CPC)

1. 「心筋梗塞による心破裂に至った一例」

健康保険人吉総合病院

循環器科部長 岡 秀樹先生

2. 「たこつぼ型心筋障害による心破裂に至った一例」

臨床研修医 寺本 周平先生